

SDGs < SDGs ALL JAPAN MEETING 2019 >
全国フォーラム2019

クロストーク

**エシカルで健康的な
暮らししが見えてくる**



蟹江 憲史
かにえ のりちか

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、慶應義塾大学SFC研究所xSDGラボ代表、国連大学サステイナビリティ高等研究所(UNU-IAS)シニアリサーチフェロー。北九州市立大学講師、助教授、東京工業大学大学院准教授を経て現職。歐州委員会Marie Curie Incoming International Fellow及びパリ政治学院客員教授などを歴任し、2015年から母校にて活動中。

Future Earth SDG Knowledge Action Network(KAN)共同議長、同コアプロジェクトEarth System Governance プロジェクトScientific Steering Committee 委員などを歴任、日本政府SDGs推進本部円卓会議委員、内閣府地方創生推進事務局自治体SDGs推進のための有識者会議委員など、国際的、国内的にSDGsや環境問題を中心に多方面で活躍中。

専門は国際関係論、地球システム・ガバナンス。2012年度のFSを経て、2013年度から2015年度までは環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクトS-11（持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究プロジェクト）プロジェクトリーダーを務めた。SDGs研究の第一人者であり、研究と実践の両立を図っている。

主な近著に「持続可能な開発目標とは何か：2030年へ向けた変革のアジェンダ」（ミネルヴァ書房、2017、編著）、*Governing through Goals: Sustainable Development Goals as Governance Innovation* (MIT Press, 2017、共編著)などがある。

成果公表



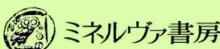
Nature等での
成果公表

ジャーナル特集号
(電子版含)

成果本出版
MIT Press



成果本出版
ミネルヴァ書房(予定)



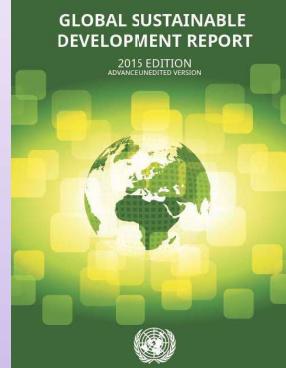
<http://sd.iisd.org/post2015-update/>

<http://sdg.earthsystemgovernance.org/>

国際共同・協働・連携



政策への貢献



国連経済社会局
専門家会合への
貢献

Inclusive Wealth Report 執筆



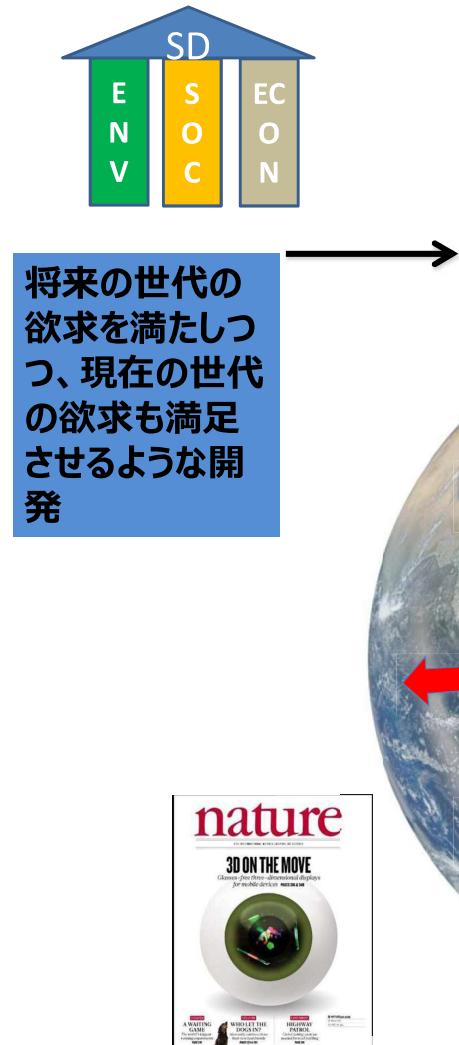
ポリシーブリーフの公表、 OWG、国連等でのセミナー開催



日本でのSDGs実施に向けた
提案・啓蒙活動



「持続可能な開発目標」で目指す「持続可能性」を定義



人類世 Anthropocene

人間活動が地球の行
末を決める時代

人類世における「持続可
能な開発」の再定義

Development that
meets the needs of the
present while
safeguarding Earth's
life-support system, on
which the welfare of
current and future
generations depends

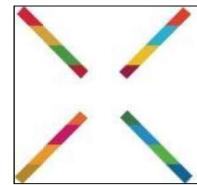
現在及び将来の世代の人
類の繁栄が依存している地
球の生命維持システムを保
護しつつ、現在の世代の欲
求を満足させるような開発

David Griggs, Mark Stafford-Smith, Owen Gaffney, Johan Rockstrom, Marcus C Ohman, Priay Shyamsundar, Will Steffen, Gisbert Glaser, Norichika Kanie and Ian Noble, 'Sustainable Development Goals for People and Planet.' *Nature* (Vol 495, 21 March 2013).



慶應義塾大学
湘南藤沢キャンパス

SDGsモデルの発信へ



慶應義塾大学SFC研究所
X.SDG Lab.

xSDGコンソーシアム

国際連携による検証

future earth



共同研究
優良事例の創出

ビジネスxSDG

大企業を中心としたビジネ
ス成功事例の創出

基準設定WG
(認証研究)
(関東経済産業
局等と連携)

プラスチック
分科会

○○分科会

金融アセスメン
ト基準xSDG





一般財団法人CSOネットワーク

- 1999年設立。2011年から一般財団法人になる
- ミッション「公正で持続可能な社会に向けた価値ある取り組みを見出し、マルチステークホルダーの参画による社会課題解決を促す」
- 事務所所在地: 東京都新宿区西早稲田2-3-18 アバコビル5階



国内のCSOとのネットワーク連携、
多様なステークホルダー間の連携
を通して、

- 調査・研究
- 情報 発信
- セミナー・イベント開催
- 提言活動

などをおこなっています。



主な活動のご紹介

サステナビリティ・ 社会的責任推進

責任あるサプライチェーン、ビジネスと人権、SDGsと企業、NPO/NGOと企業、複数の企業と対話、企業アドバイザリーなど

持続可能な公共調達推進

- ヨーロッパの先進自治体、ASEAN諸国の取り組みなどを調査。
- 2017年度、国内自治体のベースライン調査を実施。



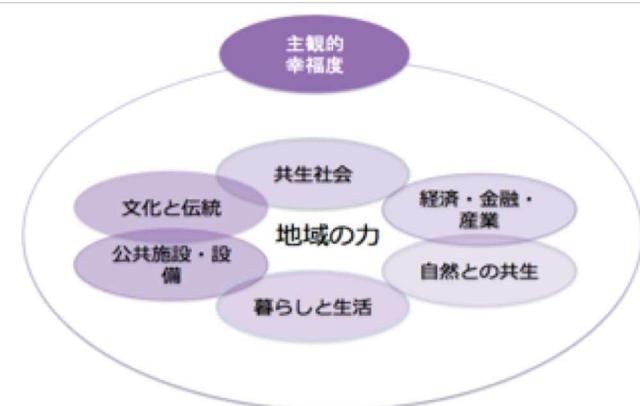
地域の力診断ツールと ワークショップ

- 地域がどのように持続可能であるかを、その地域に住む人々が主体となり診断するための指標セットを作成
- 数カ所の地域でワークショップを実施



インパクト・マネジメント・ラボ

- 分野別「社会的インパクト評価ツールセット」の作成(環境教育)
- 社会的インパクト評価、発展的評価を用いたNPO支援人材の育成
- インパクト・マネジメントの手法を用いた調査研究やコンサルティング事業



国内外のネットワーク活動 SDGs市民社会ネットワーク

社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク
日本NPOセンター、国際協力NGOセンター
The Asia Foundation, Luce Foundation
CIVICUS –World Alliance for Citizen Participation 他

Think ☽ the Earth

社会・環境課題を
「自分ごと」として創造的に行動できる
人や会社を増やしたい！

2001年創業以来、30以上の
ソーシャルデザイン・プロジェクトを
つくりました。



earth watch
original concept model (1998)





earth watch wn-1
first model (2001)



[earth watch wn-2](#)
second model (2006)

環境問題全般



2003

環境と経済の話



2004

気候変動



2006

生物多様性



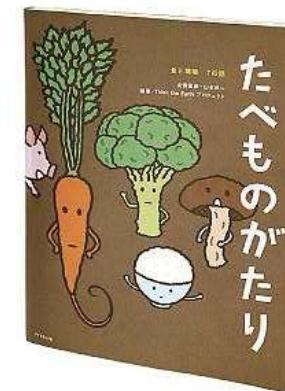
2007

水の問題

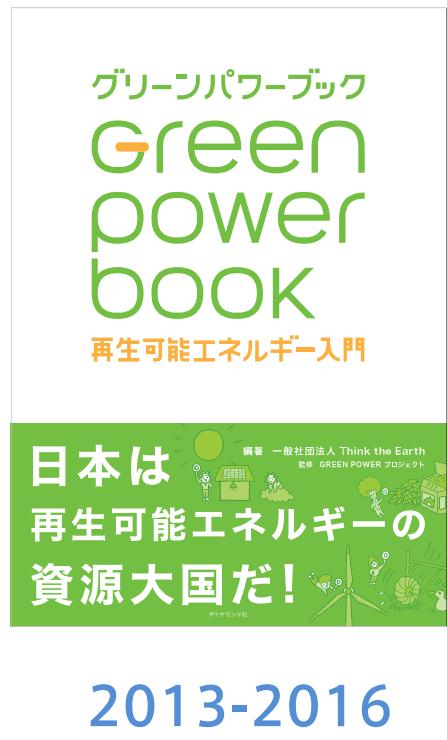


2008

食の問題



2009



グリーンパワースクール

www.gpschool.net

基本情報 先生・指導者 親子 企業・団体 GPニュース お問合せ

Green power School

グリーンパワースクール

再生可能エネルギーは未来のエネルギー。
みんなで学んで、未来をつくろう！

いいね！ 74 ツイート 4

Green Power School グリーンパワー スクールとは？

Green Power Teachers 先生・指導者の方は こちらから

Green Power Kids 親子で学びたい方は こちらから

Green Power Supporters 企業・団体の方は こちらから

「グリーンパワーブック」を1クラス分40冊プレゼント!
この本を使った授業を考えてくれる学校を大募集

先着 100校

子どもたちと未来をつくる



SDGs for School



持続可能な社会創生のためにがんばる
先生や生徒の学びから行動までを応援したい！

『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』 まずは、約300校の希望校に届けました。



※本書の売上げの一部がSDGs for Schoolの活動を支えています

2018年8月10日～16日 由高生オランダオスタディーツアー



Photo by Soichi Ueda

**2018年8月25日～26日 ティーチャーズ・ギャザリング
@都立武蔵高校**

すばらしい先生と生徒さんたちとの出会いのおかげで
毎日、たくさんの元気をもらっています（＾＾）

クロストーク

エシカルで健康的な暮らしが見えてくる

黒田かをり

Q

みなさんにとってSDGsとは？

末吉里花

Q

最近購入したエシカルなモノ
あるいは受けたサービスはありますか？
なぜ、それを選んだのでしょうか？
実際に購入してみて、
サービスを受けてみてどうでしたか？

蟹江憲史

Q

SDGsに関連する課題として、プラスチック問題
などが時事問題として挙がっていますが
つぎに「来る」であろう課題には
どのようなものがあると思いますか？

上田壮一

Q

2030年に向けて
さらに、その先の未来を考えたとき
次世代に期待することは何でしょう？
また、次世代と一緒に何がしたいですか？